

～ けやき通りマルシェ ～

商店街をマルシェに見立てた「けやき通りマルシェ」を開催。収穫祭とアートをテーマに山口産にこだわったパンやお菓子、花・野菜、手作りアート等30の出店者が軒を連ねた。音楽やワークショップを楽しみながら、お散歩感覚で商店街を散策してもらい、多くの家族連れで賑わった。

所在地：山口県山口市道場門前1-3-5

TEL・FAX：083-925-3456

URL：—

組合員数：20名

商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景



JR山口駅から県庁を結ぶ文化ゾーンに位置する商店街。山口市の中心商店街の一角で個性的な店も出店しているが、街区が短い等の要因もあって人の流れを十分に呼び込めておらず、認知度も低いことが課題となっている。昨年、商店街を彩るけやき並木の紅葉に着目し「秋色DEお散歩マルシェ」を初めて開催。地域の人々に好評で高い評価を得るとともに商店街の雰囲気も向上した。しかし、単発的なイベントで継続的な集客が十分でないことから、本年度は専門家の支援を得てコンセプトの明確化、ネーミングの変更、商店街の新しい魅力づくり等の検討を進め、より充実した内容で実施に漕ぎ着けた。

実施した事業の概要

①けやき通りマルシェ（平成26年11月2日～3日）

「山口版サンクスギビング」をテーマに、紅葉したけやき並木をお散歩しながら秋の祭り（パンや野菜等山口の産品）のほか、花、音楽、アート等を楽しんで頂いた。特に、商店街離れが懸念される30代、40代の女性が楽しめるよう、街区全体に秋を感じる落ち着いたオシャレな装飾、ディスプレイなどのコーディネートにも注力したほか、スタッフエプロンなどで統一感を演出した。

②けやきキッチン

県内の一流シェフを招き、本場アメリカのサンクスギビングをテーマにしたメニューを考案してもらい、オープンカフェ形式で提供。シェフを目当てに来られる人もおり、料理が早々に売切れる等大好評を博した。

③路地裏ワークショップ

商店街裏の駐車場を利用し、おしゃれ雑貨や飲食、カフェ等のスペースや子供と大人の体感ワークショップを実施した。ワークショップでは、キャンドル制作の体験、山口の新品種の小麦『せときらら』の紹介、おいしいコーヒーの入れ方等生活を豊かにしてくれるテーマで開催した。

上記のほか、商店街のお店を紹介する『新町商店街・けやき通りマップ』の作成や来場者を対象にしたアンケート調査を実施し、イベントの感想や今後期待されるニーズ等について把握を行い、今後の街づくり・魅力ある店づくりに活かしていくこととした。



成果と成功の要因

前回の改善点を盛り込み、ターゲットやコンセプトの明確化により、イベントの内容及び視覚的な統一感などの演出が来場者に五感で感じてもらえた。既存店の前、路地裏や空きスペースを有効に活用し、いつもの街並みにサプライズがあった。Facebookを活用した情報発信や集客の見込める近隣観光宿泊施設などへの情報提供、近隣の商店街や青年部等との連携を強化したほか、行政や支援機関からのバックアップも効果的であった。特に、近隣商店街の「山口スペインフェスタ」との同時開催とすることで相乗効果が生まれ、集客力の強化が図れた。「けやき通りマルシェ」により商店街のイメージが確立され、認知度の向上につながったことから、歩行者通行量も大幅な伸びを見せた。

今後の取り組み

事業を進めて行く段階で、委員会の開催だけでなく近隣商店街との連携・協力体制ができるなど、商店街の内・外を通じた人的ネットワークが構築された。今後は、このネットワークを活用して近隣商店街や関係機関との連携によりさらに規模を拡大して事業の展開を図ることを考えている。また、商店街の近くには温泉（湯田温泉等）や観光地が多数あることから、これらの観光客も呼び込めるようバージョンアップをしていきたい。資金面については、マルシェ参加企業等からの参加料等を徴収する等により、必要な資金の確保を図る予定である。